

株式会社 エコ計画

会社案内

Company Profile

エコ計画の森林

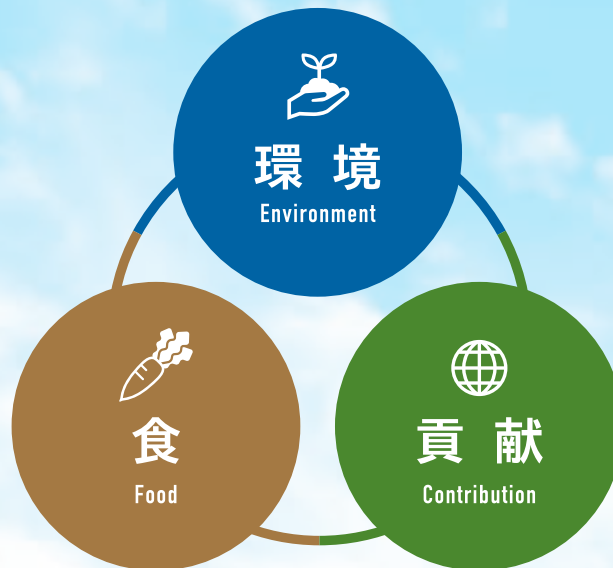
上州の水源・烏川源流を守る、「エコのコエ」が聞こえる森。

環境・食・貢献をテーマに

当社は、子どもたちに明るい未来を残すため、環境・食・貢献をテーマに事業を展開しています。

廃棄物の再生資源化や有機栽培の普及運動、飲食業、旅館業など

全ての事業を通じて、本来の生態系を取り戻し、自然と人類の共存を図ることで自然環境に貢献しています。



環境について

- 廃棄物の窓口
- リサイクル事業
- 有機肥料製造
- 公害防止機器開発

資源循環型社会の実現を目指し、自然環境保全に役立つ事業活動を展開。



貢献について

- 尾瀬保護財団への協賛
- 生物多様性保護
- ESG経営フォーラム
- 自然環境基金支援

CO₂の削減や自然保護活動の支援など、社会に貢献する活動を展開。



食について

- かやぶきの郷
- 無農薬、有機野菜生産
- ふぞろいの野菜たち

有機栽培野菜や食材の持ち味を生かした自然の味覚を提供。食環境の向上に役立つ事業を展開。

EcoVadis コミットメントバッジを獲得

当社は EcoVadis の最新の評価でサステナビリティへの前進を示す「COMMITTED」を獲得しました。

EcoVadis は、企業のサステナビリティ評価を行う国際的なプラットフォームです。

環境、労働と人権、倫理、持続可能な調達の4つのテーマで企業のCSRやESGに関する取り組みを評価し、スコアを提供します。このスコアは、取引先の持続可能性を判断するために多くの企業が活用しています。



日本SME格付で「aa(ダブル・エー)」を取得

当社は2006年12月31日決算データにつき、

2007年4月10日付でaa(ダブル・エー)の格付けを取得しました。

日本SME格付とは、スタンダード&プアーズによる財務モデルを利用した信用格付けです。



エコのコエ

エコのコエが聞こえてくる。
みんなのコエがあつまって、
大きなエコになる。
人も自然も
エコのコエで話し合おう。



環境・食・貢献をテーマに！

「エコのコエ」はエコ計画ホールディングス株式会社の登録商標です。

最先端の公害防止機器の製造・販売企業を目指して

近年、世の中が変化するスピードは加速し、地球環境の変化も例外ではありません。
国内外で環境保護に向けた取り組みが以前にも増して積極的に行われ、
資源の有効活用や廃棄物の削減による環境保護の動きが活発になっています。
企業価値を測る尺度として、ESG（環境・社会・ガバナンス）やSDGs（持続可能な開発目標）への取組が、
世界的な共通指標となってきましたが、当社は創業当時より、地域貢献・社会貢献を企業理念とし、
資源循環型社会の実現を目指して事業を展開してまいりました。
産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分・リサイクルまでのワンストップサービスを軸に、
最先端技術を用いて自治体の指標よりも厳しい独自の安全基準に従い、
環境に配慮した処分、リサイクルを実施しております。
環境だけでなく、個人情報などの機密情報処分についても
安心・安全を第一にサービスを提供させて頂いており、
お客様からのご信頼頂いていると自負しております。
2025年に創業55年となりますが、この歴史に甘んじる事なく、
常に創業期のチャレンジ精神と業界を牽引してきたパイオニア企業としての精神をもち、
技術革新による環境負荷軽減を目指し日々研究を続けてまいります。
そして環境貢献企業としての社会的責務を改めて認識し、
より一層の近代化設備の充実とリサイクル技術の向上を図り、
業界における最先端の公害防止機器の製造・販売企業を目指し、
邁進してまいります。

代表取締役社長 井上 綱隆



TOP MESSAGE

収集運搬から中間処理、
最終処分までを一貫して行います。

廃棄物処理の ワンストップサービス

ONE STOP Service

収集運搬

中間処理

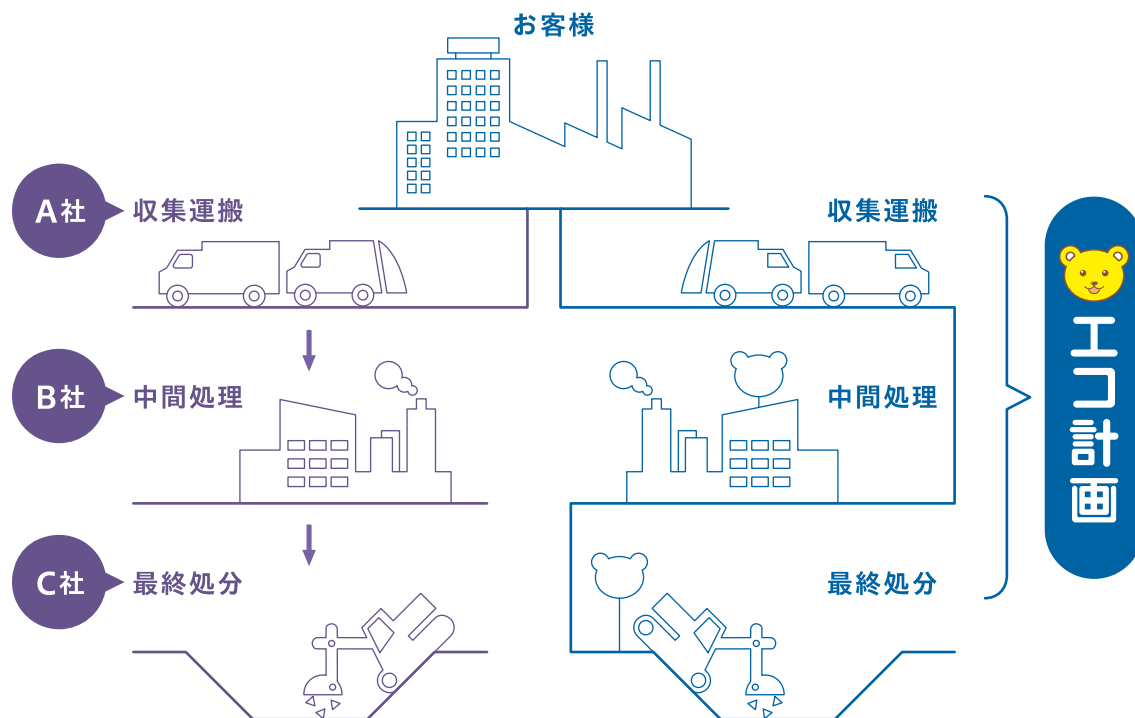
最終処分



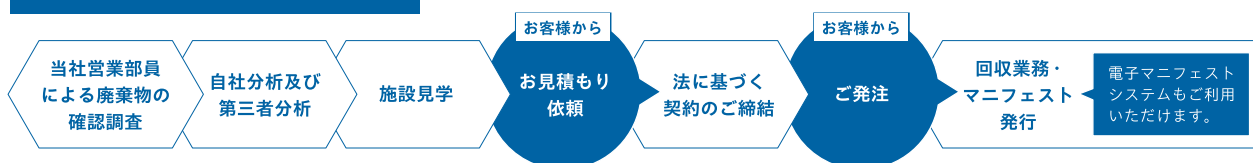
廃棄物の窓口 ～廃棄物のお悩みをすべて解決します～

収集運搬から中間・最終処分まで自社施設でのワンストップサービスの実現と
約 200 社あるネットワークを活用した最適な処分フローのご提案

当社は「環境経営の推進による循環型社会への貢献」を経営理念に掲げ、
関東全域に環境関連事業を展開するサステナビリティ推進企業です。
廃棄物全般の収集運搬から中間処理・最終処分までのワンストップサービスを提供しており、
環境に配慮した自社施設で廃棄物処理を完結可能です。
また、公害防止機器の製造・販売にも積極的に取り組んでいます。



エコ計画での処理フロー(例)



廃棄物の窓口を開設

廃棄物処理総合企業としてのノウハウをより多くの企業の皆様にご活用いただくべく「廃棄物の窓口」を2023年8月より開始しました。
関東圏内の企業様から広く廃棄物全般の管理・処分等に関するご相談を申し受ける相談ダイヤルを開設し、企業様が課題を持つ廃棄物全般の管理・処分等に関する20項目にわたり、幅広くカバーする総合ソリューション事業を提供しています。



廃棄物全般に関する、助言・代行・コンサルティング業務

廃棄物の窓口®

廃棄物の窓口はエコ計画ホールディングスの登録商標です。

相談ダイヤル **048-862-5011**

※音声ガイダンスの担当部署は「3」を押してください。

お問い合わせ
フォームはこちら



従来の廃棄物処理の、
イメージを変えていきます。



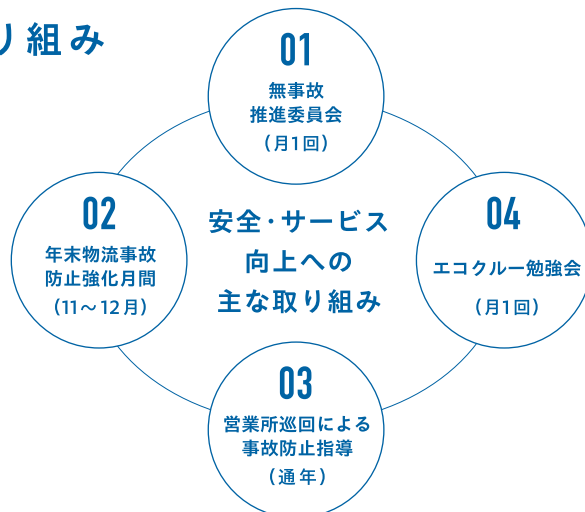
収 集 運 搬

Collection and transportation

安全・サービス向上のための様々な取り組み

当社のエコクルー（ドライバー）は入社後、徹底した教育を受けます。安全な運転でお客様にご満足いただけるサービスをご提供する為に、様々な取り組みを行っています。

尚、基本である身だしなみにおいては当社のエコクルーはクールビズ期間中以外はネクタイを着用し業務を行っています。



多様なニーズに応える徹底した管理体制

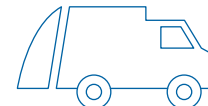
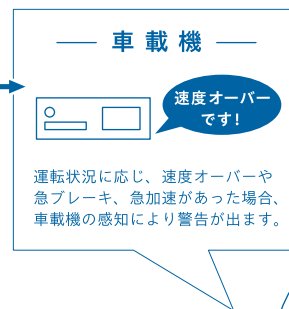
廃棄物の収集運搬用として、お客様からのニーズにお応えできるように多種多様な運搬車両を導入しています。また、全車両にGPS機能付きの国土交通省認定デジタルタコグラフを設置、お取引先から処理施設まで適正なルートで運搬が行えるように管理しています。さらに、ルート管理だけでなく、急加速や急ブレーキ、アイドリングなどを感知して音声ガイダンスで警告を発するようになっていきますので、安全運転、省エネ励行による収集運搬を行っています。

GPS機能付きデジタルタコグラフによる管理



・営業所 PC

日報として、走行した箇所や時間などの詳細なデータをチェックします。



GPS衛星により位置情報受信



円滑な収集運搬業務を推進、3カ所のストックヤード

円滑な収集運搬業務を行うために産業廃棄物各種のストックヤード(保管積替施設)を3カ所保有しています。

浦和ストックヤード(21事業部)



寄居ストックヤード



嵐山ストックヤード



国内トップレベルの中間処理
総合リサイクル施設です。



中間処理

Intermediate processing

～ 嵐山エコスペース～

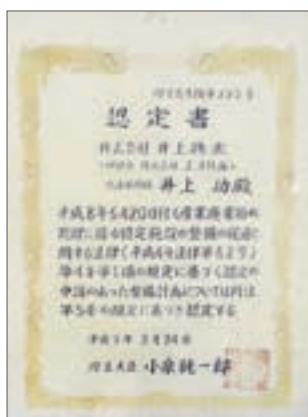
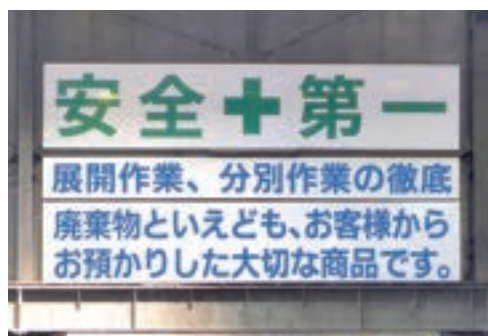


RANZAN

Eco Space

嵐山エコスペース（嵐山花見台工業団地内）

1997年に埼玉県比企郡嵐山町花見台12（花見台工業団地内）に廃棄物の中間処理総合リサイクル施設として完成しました。
1999年に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、その活動の中で目標としたリサイクル率90%を達成。
当社独自で国の基準より厳しい基準を定め、それを遵守する事により嵐山エコスペースにおけるダイオキシン等の排出濃度を非常に低く抑えることに成功しており、徹底した環境への配慮を行っています。



嵐山エコスペース
1997年3月認定（厚生省）

民間初の「産業廃棄物処理特定施設整備法」の認定

嵐山エコスペースは、民間企業として全国で初めて「産業廃棄物処理特定施設整備法」の認定を受けています。

産業廃棄物処理特定施設整備法とは

産業廃棄物処理特定施設整備法は、産業廃棄物の処理を効率的かつ適正に行うために特定施設の設置を促進するための法律です。特定施設とは、産業廃棄物処理を目的として設置される施設のことで、集会施設やスポーツ施設、教養文化施設等も含まれます。

国内トップレベルの中間処理
総合リサイクル施設です。



中間処理

Intermediate processing

～ 寄居エコスペース～

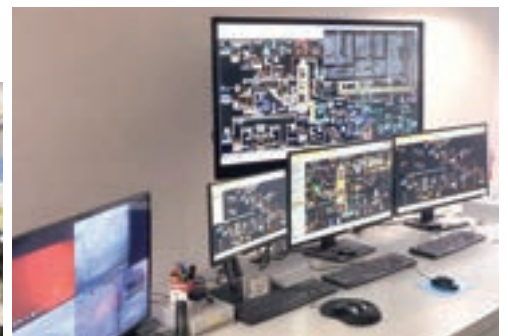
YORII

Eco Space



寄居エコスペース (彩の国 資源循環工場内)

彩の国資源循環工場 寄居エコスペースは2基の焼却炉を保有し、有機汚泥の肥料化、廃電子機器リサイクル、固形燃料(RPF)の製造、金属リサイクル、サーマルリサイクル等による20品目以上の廃棄物を原料とした総合的リサイクルを行う廃棄物処理施設です。再資源化が難しい廃棄物を燃焼して廃熱を発電、肥料乾燥、焼却汚泥等に利用しています(サーマルリサイクル)。また、発電を行う事によりCO₂排出量の抑制及び削減を行っています。さらに、廃プラスチック類を中心にRPFの製造、廃電子機器のリサイクル等により、資源を有効活用します(マテリアルリサイクル)。当サイトにて処理する廃棄物の再生利用率は、98%以上を目標として活動を実施しています。



民間第2号「産業廃棄物処理特定施設整備法」の認定

寄居エコスペースは、民間企業の第2号として「産業廃棄物処理特定施設整備法」の認定を受けています。

寄居エコスペース
2005年2月認定(環境省)

障がい者や高齢者雇用を促進する、
リユース、リサイクル施設です。



総合リサイクル

Comprehensive recycling

～ 寄居 E スペース ～

寄居 E スペース ※敷地総面積 約10,000㎡

寄居 E スペースは、様々な業種からの製品・商品等のリサイクルニーズ増加に伴い、工場に倉庫を併設したリユース、リサイクル施設として 2015 年 10 月に稼働開始しました。

建物の総面積は、約 3,200 ㎡です。（工場棟 約 1,680 ㎡、倉庫棟 約 1,520 ㎡）

工場棟は、電子機器類の分解作業ブース、データ消去を行うデータクリーンルーム、オリジナル製品を製造するプロダクションルーム等を備えています。

作業ブースには冷暖房を完備し、バリアフリー化により障がい者や高齢者も安心して働ける快適な職場環境を提供しています。また施設出入口には金属探知機を設置し、倉庫棟を含めて万全のセキュリティ体制のもと、コンプライアンスの強化、安心・安全な管理運営を行っています。



● 工場棟1階の面積は約1,180㎡

ブースを5棟設置し、分解・選別等のリサイクル業務を行います。



● ブースは冷暖房完備

生産性の高い快適な環境で効率的に電子機器類の分解作業等を行います。



● 徹底した安全な管理体制

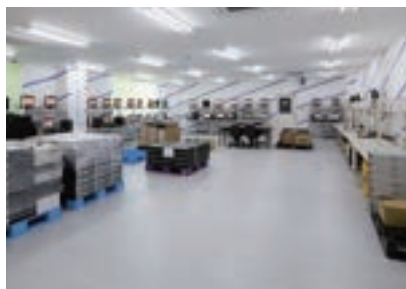
2棟の倉庫棟ではお客様からお預かりした製品・商品を適正で安全な管理体制で保管致します。



● データを消去

工場棟2階データクリーンルームはパソコン等のデータ消去を信頼あるソフトウェア(Blanco)※で行います。

※全世界100ヶ国以上の実績



● 万全なセキュリティ体制を実現

データクリーンルームはデータ消去以外に製品のリユースを行います。入退出時には暗証番号とカード認証の二重ロックによる厳重なセキュリティ管理を行っています。



● オリジナル製品の製造

工場棟2階プロダクションルームはレーザー加工によるオリジナル製品の製造等を行います。

埼玉県障害者雇用優良事業所として認定

障がい者雇用促進のため、障がいを持つ方々が働きやすい環境づくりへの取り組みや、働きがいのある職場を提供することで、2024年9月に埼玉県障害者雇用優良事業所として認定されました。



副産物の熱を、
有効利用します。



中間処理

Intermediate processing

～サーマルリサイクル～

限りある資源を有効活用するサーマルリサイクル

サーマルリサイクルとは、廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーを回収して発電などに利用するリサイクル方法です。

特にプラスチック類などは純石油製品であるがゆえに、大量の熱エネルギーを回収することが可能です。

当社では石油を限りある資源と考え、少しでも廃棄物をエネルギーに変えようと、積極的にサーマルリサイクルに取り組んでいます。

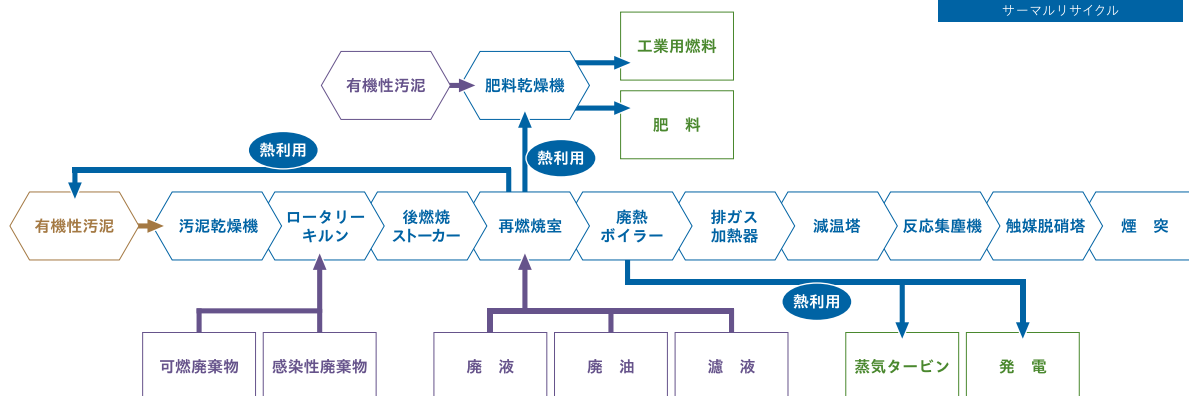
廃プラスチック類、紙くず、木くず等を燃料として

汚泥や有機汚泥を乾燥する熱源にし、発電による省エネ化を進めています。

また環境にも配慮し、焼却炉の燃焼温度を800℃以上に保つとともに

集塵装置であるバグフィルターを使用して、

ダイオキシンやばいじん等の排出を抑制しています。



● 乾燥機

日本で排出される産業廃棄物の中で最も多いのが汚泥です。その汚泥、動植物性残さ、燃え殻などの廃棄物を中間処理・脱水後、焼却炉の廃熱エネルギーを利用し、肥料を製造しています。当社では有機性・無機性など、汚泥の性状により様々なご提案が可能です。

● 有機肥料製造

有機性廃棄物で製造された「システム大地」は活力あふれる大地の恵み、豊かな実りのある農作物を収穫されるために生まれた有機質肥料であり、土壌を改良する緩効性有機質肥料、土壌の団粒化を促進させ保水性・透水性・通気性を良くし、嫌気性菌などの有害菌や害虫を寄せ付けにくくする特徴があります。

● 発電システム

焼却による高温高圧の蒸気を利用し発電する蒸気タービン発電機。自立運転も可能な設備です。更に余剰蒸気を利用し、スクリー式蒸気発電機での発電及び蒸気タービンでも動力を得ています。この他にも地球環境に優しいクリーンな発電システムを備えています。

研究開発施設

日々、深刻化する環境問題。資源を守り、効果的なリサイクルを行うことが我々の課題です。環境に配慮した処理を行うなど、お客様のニーズにお応えする為、日々研究を続けています。

● 成長し続けるために

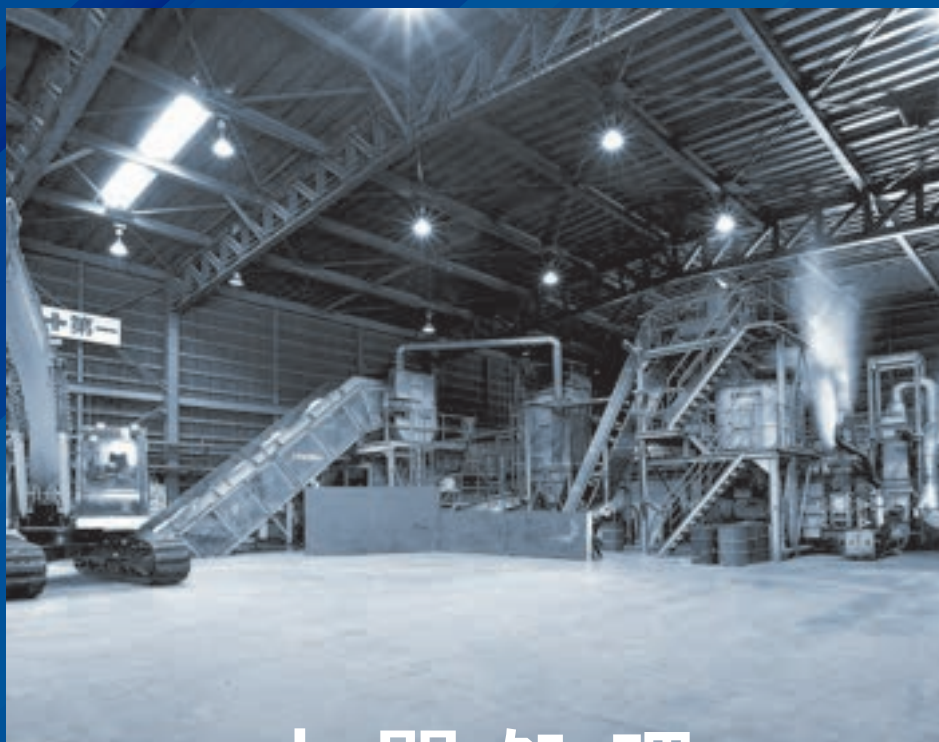
新たなリサイクル技術の開発や施設の環境負荷を低減する研究を行っています。粉塵爆発の危険があるプリンターナーの安全な処理を可能にする等、成果をあげています。

● 積み重ねていくこと

当社の研究グループでは、お客様からお預かりする廃棄物のサンプルチェックだけでなく、騒音・振動・臭気などの環境測定も日々継続して行っています。



新しい資源を、
生み出します。



中間処理

Intermediate processing

～マテリアルリサイクル～

多種多様な廃棄物を分別して資源にする マテリアルリサイクル

マテリアルリサイクルとは、使用済み製品や廃棄物などを原料として再資源化を行い、有効活用するリサイクルです。以前は産業系廃プラスチックが主でしたが、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法などが施行されたことにより、家庭や店舗、事務所から出る使用済みプラスチックもマテリアルリサイクルの対象になっています。

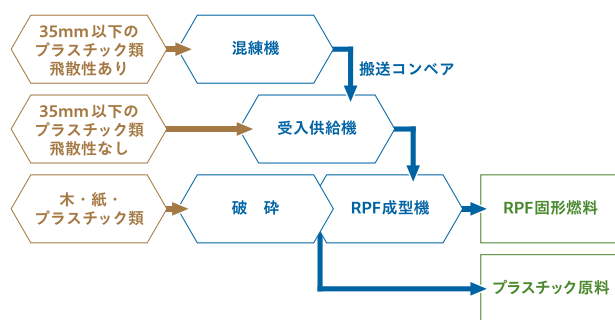
当社では、廃プラスチック等を RPF 製造施設にて固形燃料にしていますが、

施設改善を図り、トナー粉等の飛散性処理困難物は混練・減容処理、35mm 以下の飛散性がないフレーク状の廃プラスチック類は減容処理とし、環境に配慮したリサイクルを行い、資源を幅広く受け入れ、

お客様のニーズにお答えすると共に、マテリアルリサイクルの推進を図っています。

その他、有機汚泥の肥料化・工業用燃料化、廃電子機器等を分解・選別し再資源化するシステムも採用しています。

また、金属くずについても当社の中間処理総合リサイクル施設は埼玉県より再生事業者の認定を受けています。



● 木くず破砕機

不要となった木製パレット等を選別・破砕して、良質な木材チップを製造しています。製造した木材チップは、ボード用原料やバイオマス燃料、RPF用原料など、様々な分野にて有効活用されています。



● ベッドマット破砕機

ベッドマットは、スプリングと布・スポンジの選別が困難であり、以前は手作業で解体選別していましたが、ベッドマット破砕機の開発・導入により破砕・選別作業の自動化を実現。重量物(スプリング)と軽量物(布・スポンジ等)の高精度での選別により、運搬効率も向上しました。



● 発泡スチロール減容機

発泡スチロール減容機は、省力化を実現した、炎を使わない電熱式のクリーンで安全なリサイクル設備です。発泡スチロールの素材はPS以外のPP・PEも減容処理が可能です。減容ブロックは、170℃で処理されますので良質の再生原料を生み出します。板状なので積み重ねやすく運送性、保管性に優れています。



● 銅線剥離機

当社ではコード類より98%以上の銅を高回収する銅線剥離機を稼働させています。銅線剥離機とは、コード類の被膜を中身の銅と分離し、銅のリサイクルを目的としたプラントです。コード類から良質な銅のみを取り出すためには、被膜を除去する必要がありますが、省力化を実現したプラントを導入することにより、銅の完全リサイクルを実現しました。

厳しい基準を満たした、
安定型埋立処分場です。



最終処分

Final disposal

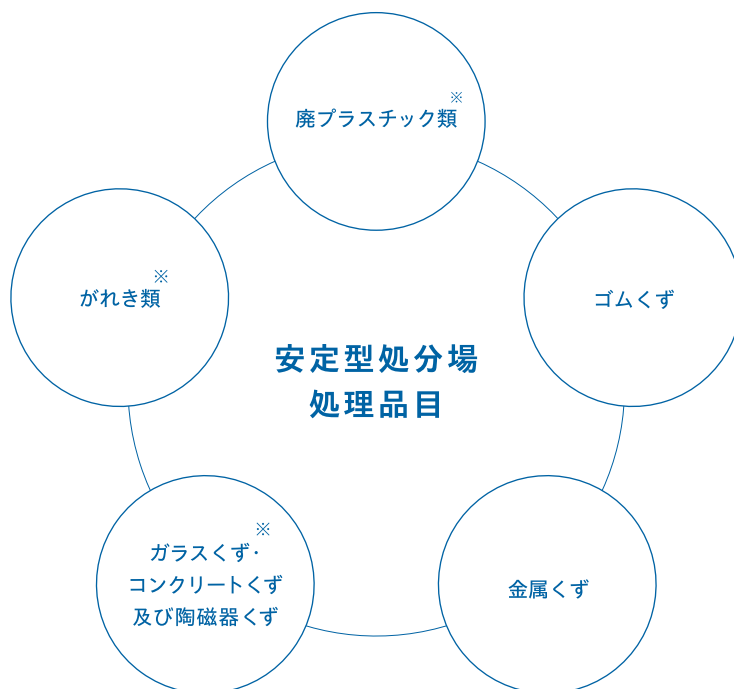
～群馬エコスペース～

群馬エコスペース

2015年4月、群馬県渋川市に県内で初となる新基準（2013年4月条例改定）に合致した安定型埋立処分場として完成しました。処分場壁面にはモルタル吹付け、底面には厚さ150mm以上のベントナイトによる不透水性の構造が設けられており、埋立廃棄物を通った雨水等が直接地下浸透しない構造となっています。処分場底面を通る集水管によって集められた浸透水は定期検査を実施し、常に安全を確認しています。

周辺環境への 配慮

- 01 「群馬県廃棄物処理施設の構造及び維持管理等に関する基準」を遵守し、地下水、浸透水の水質検査を月1回、また処分場境界での振動、騒音、臭気検査を各年1回実施。
- 02 行政機関による水質検査年2回実施。
- 03 重機については、排ガス規制対応機種、低騒音機種を導入。
- 04 処分場周辺道路の清掃等美化活動の実施。



※石綿含有産業廃棄物を含む

最終処分場を創業以来 無事故で管理

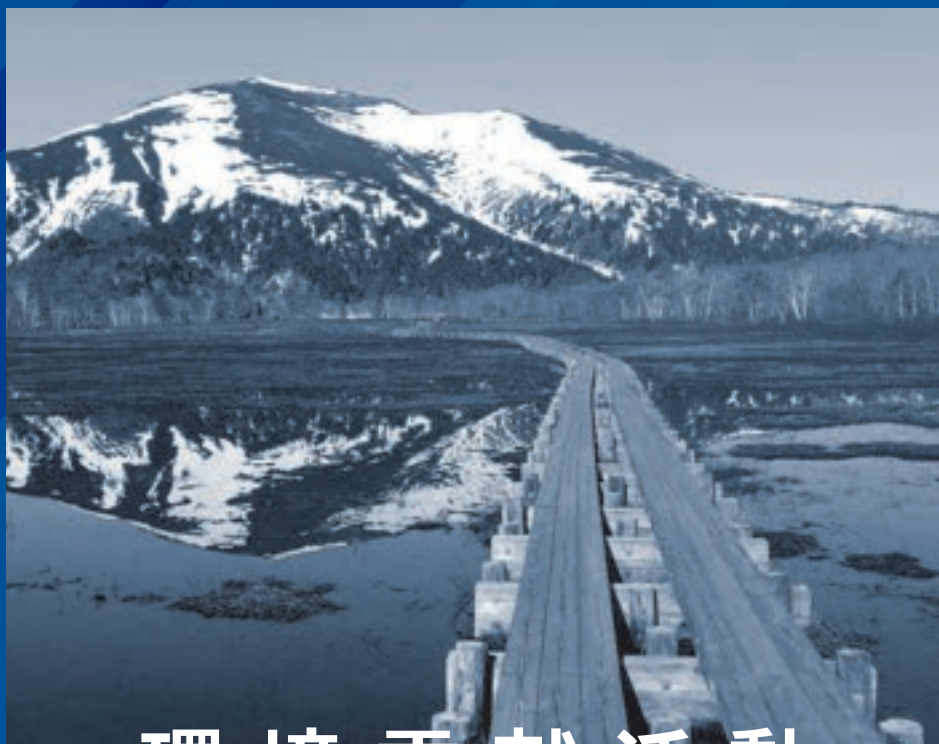
当社の安定型最終処分場は現在17期目となっており、関係行政機関・地元住民の皆様のご指導、排出事業者様のご理解ご協力のもと、現在まで無事故で50年余の稼働実績を上げさせていただいています。周辺環境への配慮に重きを置いた事業計画・処分場維持管理を推進し、最終処分場は埋め立て完了後、植栽、緑化により森林へと復元しています。



● 大型コンパクタ

コンパクタはアメリカ製であり、重量は約50t、タイヤひとつにつき1tの水を入れて重量をあげています。廃棄物を敷きならした後は、コンパクタにて繰り返し転圧することにより廃棄物を破碎し、締め固めます。当社ではコンパクタを2台保有しています。

事業を通してSDGs全17の、
グローバル目標を達成しました。



環境貢献活動

Environmental contribution activities

～SDGsへの取り組み～

エコ計画の事業事例

- 1 ジュニア・エコタイムス、ぐんまエコ宣言の応募件数に応じたユニセフへの寄付
- 2 農地所有適格法人の保有（地産地消）
- 3 自然体験できる環境保護（尾瀬保護財団特別会員）
- 4 若い世代に向けた環境教育（ジュニア・エコタイムス、ぐんまエコ宣言！）
- 5 WEリーグ浦和レッズレディース塩越柚歩選手（当社環境アンバサダー）のサポート、女性管理職の登用推進
- 6 水源涵養保安林（エコ計画の森林）
- 7 施設における蒸気タービン発電
- 8 障害者雇用の促進（特例子会社）、起業支援（エコ計画ラボ）
- 9 サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへ
- 10 ジュニア・エコタイムス、ぐんまエコ宣言の応募件数に応じたユニセフへの寄付
- 11 かやぶき家屋の保存・継承、林業遺産（エコ計画の森林）
- 12 地方創生に寄与する持続可能な森林経営（エコ計画の森林）
- 13 CO₂の吸収と貯蔵（エコ計画の森林）
- 14 海洋資源保全（エコ計画の森林）
- 15 生物多様性（エコ計画の森林）
- 16 ユニセフへの寄付、行政と連携した国際協力、ヤングケアラー支援
- 17 地域、行政、企業等とのパートナーシップによる事業の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



地球環境を見据えた、
環境保全活動をしています。



環境貢献活動

Environmental contribution activities

～ 自然保護活動～

エコ計画の森林 ～上州の水源・烏川源流を守る「エコのコエ」が聞こえる森～

当社はCO₂削減と森林保全活動の一環としてフォレストストック協会認定の森林の保有・整備を行っています。地球温暖化防止・生物多様性保全・水資源保全などを見据え、日本の森林を守る活動に貢献しています。フォレストストック認定制度とは、第三者機関による調査・審査の結果、適切な森林の管理・経営がなされ生物多様性保全が豊かである森林について、その森林が吸収するCO₂吸収量を販売・流通可能とする認定制度であり、一般社団法人フォレストストック協会により運営・管理されています。

森林が吸収するCO₂吸収量を算出し「CO₂吸収量クレジット」として環境貢献に関心を持つ企業が購入可能な仕組みを通じて、これらの企業による支援が、森林所有者や森林組合などに森林整備・保全するための資金として還元されることを目的としています。



・フォレストストック認定書

当社の有する群馬県高崎市倉沢町の948.32haの森林が2012年11月一般社団法人フォレストストック協会により「エコ計画の森林」として認定を受けました。

SDGs
該当目標



尾瀬保護財団への協賛

「豊かで美しい自然を後世まで伝えたい」という公益財団法人 尾瀬保護財団の趣旨に賛同し、2016年より同財団に協賛をしています。同財団からは「友の会」特別会員に任命されております。尾瀬の貴重な自然と生態系が未来へ引き継がれていくことを願っています。



写真提供：公益財団法人尾瀬保護財団

地域社会との共生・貢献を目指した
取り組みを行っています



社会貢献活動

Social contribution activities

エコ計画ラボ 起業したい！を創業します！へ。その夢とエコラボしよう！

当社では創業を通じて事業と人の繋がり、そしてアイデアを結び付け、社会へと具現化していくための支援として、「エコ計画ラボ」の取り組みをスタートしました。起業したい、アイデアや事業計画はあるが資金がない、といった方に対し、資金提供・事業計画策定支援・開業支援・ワークスペースの無料提供など、様々なサポートを行っています。



エコ計画ラボ ワークスペース（無料提供）

SDGs 該当目標



eco 計画ラボ
詳しくはHPから！ <https://labo.eco.co.jp>



若い世代に向けた環境教育

廃棄物問題は今後さらに深刻化し、環境問題の解決には長い時間がかかりそうです。小学生の低学年のうちから環境に対する問題意識を高めておくことは、彼らにとっても、日本の未来にとっても大きく役立つことでしょう。未来を担う子どもたちを育て、次世代の環境を考えることも、エコ計画の使命です。

SDGs 該当目標



● ジュニア・エコタイムス

埼玉県と埼玉新聞社が主催する、県内の小学生が環境について考え、手作りする新聞のコンクール「ジュニア・エコタイムス」に1997年から単独協賛しています。

■主催／埼玉県・埼玉新聞社
■協賛／(株)エコ計画



● ぐんまエコ宣言！

群馬では「ぐんまエコ宣言！」に特別協賛しています。子供たちのプレゼンテーションスキルの育成と、環境教育を盛り上げる一助となるこの取り組みをサポートしています。

■主催／上毛新聞社
■協賛／(株)エコ計画

浦和レッズオフィシャルパートナー

当社は浦和レッズオフィシャルパートナーとしてその活躍をサポートしています。さらに、女子サッカーの発展支援、地域貢献を目的とし、浦和レッズと同様、浦和レッドダイヤモンズレディースを応援しています。



【エコ計画 環境アンバサダー】に塩越柚歩選手が就任

浦和レッドダイヤモンズレディースの塩越選手は、2016年4月から2021年1月までの約5年間、当社社員として地元に着目した貢献活動に取り組んできました。日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）の発足により当社から巣立つことになり、2021年2月からプロ選手として活動をスタートしています。



©URAWA REDS

会社概要（2024年12月31日現在）

商 号 株式会社 エコ計画（英文名 ECO KEIKAKU CO., LTD.）

設 立 年 月 日 昭和45年（1970年）7月17日

資 本 金 4,527 万円

役 員 等
代表取締役社長 井上 綱隆
常務取締役 八木 三郎
常務取締役 木村 雅一
執行役員 柴崎 孝広
執行役員 岩崎 勇貴
執行役員 設楽 孝二郎
執行役員 吉田 和彦

従 業 員 数 300 名（パート・アルバイトを含む）

本 社 〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町 4-2-20 エコ計画浦和ビル
TEL:048-862-5011 / FAX:048-864-4821

主な事業内容
1. 廃棄物処理業
2. 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物の処理
3. 廃棄物の再資源化による燃料の研究開発及び製造、販売
4. 資源再生利用促進の企画、調査及び管理
5. 資源再生機器の研究開発及び製造、販売
6. 肥料の製造、販売及び施肥に関する試験研究
7. 鉄、非鉄金属くずの回収及び販売
8. 旅館業及び飲食店の経営
9. 健康食品の製造及び販売
ほか、上記各号に付帯関連する一切の業務

主な取引銀行
埼玉りそな銀行 浦和中央支店
三井住友銀行 埼玉法人営業部
みずほ銀行 浦和法人部
三菱UFJ銀行 大宮支店
群馬銀行 武蔵浦和支店
武蔵野銀行 浦和支店



本社（埼玉県さいたま市浦和区）

さいたま市を本社に 関東全域を対象に事業を展開

1970年の創業以来の事業拠点であるさいたま市桜区(西浦和)の21事業部に加え、2020年に行政の中心地である、さいたま市浦和区に位置する「エコ計画浦和ビル」を本社として事業を展開しています。エコ計画は、これからも地域社会と共に歩み、環境貢献企業として事業活動を通じて社会貢献を行っていきます。

拠点一覧

より良いサービスをご提供するため、関越自動車道を中心に
寄居・嵐山・群馬各エコスペースの連携度高めています。

また、21事業部を含めた各処理施設では、
円滑な収集運搬業務を実現するため、
産業廃棄物各種の保管積替施設を保有しています。



● 本 社

〒330-0062
埼玉県さいたま市浦和区仲町4-2-20 エコ計画浦和ビル
Tel.048-862-5011

● 北関東支社

〒371-0846
群馬県前橋市元総社町567 エコ計画前橋ビル
Tel.027-251-2781

● 東京事務所

〒102-0082
東京都千代田区一番町2-3-303
Tel.03-3262-0406

● 宇都宮営業所

〒321-0953
栃木県宇都宮市東宿郷3-5-2-301
Tel.028-612-4811

● 群馬エコスペース

〒377-0024
群馬県渋川市祖母島2708-5
Tel.0279-25-0663

● 寄居 E スペース

〒369-1223
埼玉県大里郡寄居町三ヶ山字東高山331-3
Tel.048-582-5800

● 21事業部

〒338-0837
埼玉県さいたま市桜区田島8-4-16 エコ計画ビル
Tel.048-863-2720

● 寄居エコスペース

〒369-1223
埼玉県大里郡寄居町三ヶ山262
Tel.048-582-5800

● 嵐山エコスペース

〒355-0204
埼玉県比企郡嵐山町花見台12
Tel.0493-62-0011

お客様、地域社会との更なる共生・貢献を目指して

皆様には日頃よりエコ計画にご協力いただき、誠にありがとうございます。
当社グループの各事業会社は、心の豊かな生活環境を提供し、
社会や文化に貢献するという経営方針を共有し、
今後も誠実な経営姿勢と変革を忘れず、人財、技術、情報の横断的な活用により
新たな価値を創造できる企業グループを目指してまいります。
引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
今後ともエコ計画をどうぞよろしくお願い申し上げます。

エコ計画ホールディングス(株) 代表取締役社主 **井上 功**



エコ計画の公式キャラクター紹介

エコ計画のシンボルマークとして、ロゴにも使用されている「エコちゃん」は当社の公式マスコットキャラクターとしても活躍してくれています。

イベント等では着ぐるみでの登場、オリジナル販促グッズやLINEスタンプにも展開しています。



エコちゃん



エコ美ちゃん

エコちゃん
LINEスタンプ
デビュー!



環境貢献企業

エコ計画

<https://www.eco.co.jp/>



本社、21事業部、東京事務所、北関東支社、宇都宮営業所、嵐山・寄居・群馬エコスペース、寄居EスペースにてISO14001認証取得

1999年にISO14001認証取得後、毎年更新し、2009年には認証機関である株式会社日本環境認証機構よりISOマネジメントシステム認証を長期に渡り継続していることに対して「ISO14001 10年継続賞」をいただきました。

